

配艇関係連絡事項

(南東北インターハイ配艇担当)

1 競技艇

インターハイ向けのパーツ図面を下記のとおり、掲載しましたのでお知らせします。

<http://www.k-boat.co.jp/dl/miyagiIH.htm>

ご確認いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2 配艇受付・返却について

- (1) 受付時には ID が必要になります。必ず持参するようにしてください。
- (2) レースに出漕するクルーは事前に A 監視 (初日のみ) とコックス計量を済ませてください。
- (3) 公式練習・レースともに配艇受付時間は 10 分前より受付を行います。
※但し、公式練習 2 日目のみ 5 分前受付とします
- (4) 受付をしたクルーは、「配艇カード」を受け取り、リギング監視係に渡して下さい。
- (5) 艇の返却前には必ず艇の点検を受け、点検カードを受け取ってください。なお、艇の故障や破損がある場合は速やかに係員に報告してください。
- (6) 公式練習またはレース使用後は速やかに艇を返却するようお願いいたします。なお、返却時は、点検カードを配艇受付まで持参してください。艇の返却が遅れると大会日程に影響が出てまいります。

3 リギング全般

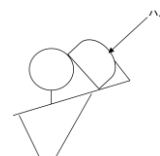
- (1) モンキースパナは、破損の原因になるので使用禁止です。また、ストレッチャーの蝶ナットは、手で締めてプライヤーは使用しないでください。
- (2) リガー取付けについては、一番低くなるように設定してあります。アッセンブリの穴を変えても高さが取れない場合は、配艇委員まで申し出てください。リギング時間内で業者が取り付けを変更します。
- (3) リギングの際は、ピンをたたいたりナットを締めすぎたりするなど、艇の故障の原因となる行為はやめてください。
- (4) ストレッチャーの角度調整のため、ワッシャーを抜く場合は、元の数に戻してください。
- (5) リガーに波除のテープを貼るクルーは、リガーに粘着のりが付着しないテープを使用してください。(養生テープなど)
- (6) 原状回復が困難なほどの艇の調整・加工は禁止します。リギングがうまくいかないときは無理に調整しようとするのではなく、配艇委員またはメンテナンススタッフに申し出て相談してください。
- (7) クォドルプルを返すときにウマからの距離に気をつけてください。ウマの上で艇を返すと、ウマにぶつかることもあるので、艇の損傷の原因となります。また、艇を返すときはゆっくり行い、ウマや膝に当てないようにしてください。

4 部品交換等

- (1) ストレッチャーとシートの交換については、計測委員の許可が必要となります。所定の届出用紙に必要事項を記入し、リギング開始の1時間前（1・2組の場合は前日配艇時）までに、計測委員に提出してください。必ず、許可を受けてから交換してください。なお、部品の交換は、リギング時間内に行ってください。また、ストレッチャーを交換したクルーは、ヒールロープを復元してください。
- (2) 規格艇の標準値を超えてシートレールを前に出す場合はサポート金具の使用が義務付けられています。具体的にはベアリングウィール（コロ）がシートレールの下にサポートがない状態で前後輪とも乗ってしまうような状態を指します。その際は所定の用紙をリギング開始の1時間前（1・2組の場合は前日配艇時）までに計測委員に提出し、サポート金具を借り受けてください。

5 その他

- (1) リギングの作業や艇の運搬はお互いに譲り合って、円滑に行ってください。配艇場から栈橋まで、係員の誘導に従い、艇の運搬には十分気をつけてください。
- (2) シングルスカルは2人で運搬してください。船底（ハル）を横向きにし、できる限り波よけに近いところを持つようにしてください。



6 栈橋について

- (1) 栈橋は4か所あり、駐車場側2か所が出艇専用とし、ゴールから近い側2か所を帰艇専用とします。係員の指示がありますので、その指示に従ってください。
- (2) 栈橋周辺は混雑が予想されます。ユニフォームを着用してから出艇するなど、速やかに乗艇できるように準備しておいてください。また、栈橋の上でのネジの確認等も、混雑の原因となりますので、ゆるみがないようにリギング場で確認してください。
- (3) 練習水域では、航行ルールをしっかりと守って、接触・衝突がないよう他艇の動き等に十分注意してください。
- (4) 艇の破損を防ぐために特に以下の点に注意してください。
 - ・水面に艇を置くときは、栈橋に当たらないようにできるだけ遠くに下ろしてください。特にクォドルプルはラダーやフィンの破損が多いので、上げ下ろしするときコックスは必ずラダーの状態に気を付けるようにしてください。
 - ・風や波があるときの栈橋からの離岸・着岸はゆっくりと慎重に行ってください。離着岸の技術に自信があっても、補助員がいることを確認してから着岸してください。
 - ・栈橋付近の水上は大変込み合うため、力漕は禁止とします。安全に十分注意し、ゆっくりと出艇および帰艇してください。

艇を大切に扱い、みんなにとって気持ちの良い大会にしましょう！

前日配艇について

南東北インターハイ配艇担当

今大会では早朝レース時間帯の選手監督の負担を軽減する目的で、前日配艇を行います。以下の注意事項をご確認ください。

- 1 日程と時間については下の表でご確認ください。必ず時間内に終了するようお願いいたします。終了時刻になりましたら、リギングを中断し、配艇カードを返却していただきます。

8/4	全種目	13:30~14:30	リギングのみ
8/5	全種目	15:30~16:30	リギングのみ

※予選の前日配艇はありませんが、その代替として公式練習 2 日目の 3, 4 組は、予選各種目 1・2 組のクルーとなっております。該当するクルーは、リギングの解除はせず、そのままレースで使用してください。

- 2 8月4日～8月5日の前日配艇は、翌日の各種目 1・2 組に出漕するクルーのみが対象となります。
- 3 前日配艇の内容はリギング調整のみとし、水上でのリギング確認および練習はできません。
- 4 レース当日の配艇時刻は「前日配艇」の有無に関わらず、レース時刻の 90 分前とします。また、すべてのクルーが配艇での受付を行うようお願いいたします。受付を通らず（配艇カードを受け取らず）リギングを開始したり、出艇することが無いようご注意ください。
- 5 天候等の事由によりレース終了が遅れた場合は、実施しないこともあります。

【問い合わせ先】

宮城県塩釜高等学校
ボート部 斎藤 貴紀

TEL: 022-362-1011

FAX: 022-362-0703

E-mail:t.saito@shioko.myswan.ne.jp